



【編集・発行】
侍浜町振興協議会
侍浜市民センター
(☎0194-58-2110)

【裏面記事】

- ・着任の挨拶
侍浜小学校校長、侍浜中
学校校長、岩手県立久慈
拓陽支援学校校長
- ・町内官公署等転入職員紹
介
- ・町老連の見舞金に台湾か
ら感謝状
- ・お知らせ

平成三十一年度 侍浜町振興協議会 定期総会開催



西村会長あいさつ

平成三十一年四月十四日（日）、午前十時から侍浜市民センターで平成三十一年度侍浜町振興協議会定期総会が開催された。

西村秀雄振興協議会会長から「昨年を振り返ってみますと①侍浜市民センターが優良公民館表彰受賞、②侍はまおど塾が県内の元氣なコミュニティ特選団体に認定、③全国和菓子甲子園で町内女子生徒らのチームが準優勝、④松寿老人クラブの五十周年等がありました。侍浜市民センターの指定管理については県内視察等を行ってききましたが、引き続き急がずに調査・検討を行っていきます。少子化と地域の人口減少状況を少しでも変えたいの思いで取り組んできました侍ブランド創生プロジェクトは昨年

度で国の交付金による事業が終了しました。今年度からは久慈市の補助を活用しながら地域での取り組みを継続していきたい。人口減少と共に侍浜町振興協議会参加戸数も十年間で三十四戸（五％）減少しました。これまでも地域の状況やニーズに応じた事業の在り方を検討してきましたが今後地域から求められる活動、地域の状況にマッチした活動になるよう努力をして参りますので忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。」と挨拶がありました。

白前地区の小向榮吉さんの議事進行で、議案第一号平成三十一年度の事業報告及び決算が承認されました。議案第二号 平成三十一年度の事業計画では、

- ① 農山漁村振興交付金事業（農泊推進事業）、侍ブランドプロジェクト事業の取組
- ② 市民センター指定管理について
- ③ 少子高齢化に対応した地域活動の在り方検討

④ 振興協議会事業等について

以上の総務部提案及び各部の事業が提案され事業案、予算案とも承認されました。

桑畑地区の下向さんから「少子化、高齢化に対応する地域活動として侍浜町振興協議会としてどのような取組みがあるか」との質問があり、これに対し総務委員長の久慈清悦氏から「例えば体育館が実施しているミニ運動会の実施や健全育成部事業の侍囃子事業等が行われている。」と回答がありました。

議案第三号及び第四号の侍ブランド創生プロジェクト特別会計の平成三十一年度事業報告及び平成三十一年度事業計画については、木地谷侍浜市民センター長から、国庫交付金での事業が終了したことにより今後は久慈市の補助金を活用した事業を展開することの説明がありました。向町地区の嵯峨さんから「国の交付金による事業の中で行われてきた侍マルシェは予算が大きく減少しているがいかにか」との質問に対し木地谷市民センター長から「補助金を使えたときは侍マルシェのための雇用者にも多

少の賃金を支払うことができたが、久慈市の補助金ではそこまでは支払えない。今後多少の補助項目での変更はあるかもしれないが、現時点では補助申請した金額で地域に定着した事業にしていきたい」と述べられました。

議案第五号 役員改選では、役員選挙委員長の久慈宣彦氏から役員選挙結果を提案いただき、次のとおり新役員が可決しました。

会長	西村 秀雄
副会長	河村 はつ
副会長	桑田 辰治
総務委員長	久慈 清悦
財務委員長	中居 弘美
広報委員長	石崎 正太郎
監事	林崎 和志
監事	桑田 孝一
監事	田中 健一

議案第六号 侍浜町振興協議会規約の一部改正では事務局所在地を「侍浜公民館」から「侍浜市民センター」に変更すること。

また、各部の「交通安全部」の名称を「交通部」に変更すること、追加の部として「農泊事業推進部」の創設も報告されました。



平成三十一年度・囲碁ボール大会開催 揃って卒寿を迎えた 砂沢御夫妻大活躍

平成最後の囲碁ボール大会が、去る三月九日（土）市体育協会・レクリエーション協会主催により市民体育館で行われ、侍浜町から堀切と侍浜の二チームが参加、十八チームが四コートに分かれ各コート二チームの勝ちあがり、優勝を目指して競い合いましたが、侍浜チームは二位、堀切チームは五勝一敗で惜しくも三位、一敗は侍浜チームに負けたものでした。

堀切チームには、砂沢里一さん、昭和三年十二月、ヨシノさん三月生まれのチヨットだけ姉さん女房、面倒見の良いヨシノさんが、里一さんの手足となり、現在二人暮らしをエンジョイしております。

里一さんは、堀切の生き字引です、昭和五年三月、侍浜待望の八戸久慈間を結ぶ待望の鉄道が汽笛を挙げ開通致しました。

里一さんは、地図にも乗る砂沢に生まれ育ち、炭焼き、出稼ぎ、農業（ほうれ

地域おこし協力隊 木村圭次さんが 三年の任期を満了！

侍浜市民センター所属の地域おこし協力隊・木村圭次さんが、四月十七日で三年の任期を満了し退任しました。

京都出身の木村さんは、平成二十八年四月に久慈市の地域おこし協力隊として着任し、地域活動の支援などに当たってきました。四月十四日には、市民センターで「退任御礼活動報告会」を開催。お世話になった地域住民や仲間の地域おこし協力隊など出席者約五十人を前に、三年間の活動を振り返りながら、地域づくりの大切さを述べました。

町民の皆さんに向け、「三年間大変お世話になりました。ありがとうございます」



と感謝の思いを口にする木村さん。退任後も引き続き侍浜町に定住し、町民として、侍浜の地域づくりを実践していくこととしています。

ん草、椎茸、他）会社勤めをしながら、作業をこなし、時間を作っては、ゲートボール、マレットゴルフ、グランドゴルフ等スポーツを夫婦で楽しみ、地域のリーダーとして大活躍して頂いております。

この度の囲碁ボール大会においても、リーダーが指示した場所に確実にボールを打ち込む姿に、見ている方々から、どよめきと、上手など、ため息が絶えず、見事なものでした。

成績もさることながら、夫婦



揃って健康かつ元気に、卒寿を迎えられたことは、立派の一言です。砂沢御夫妻には、増々健康に天寿を全うする為、元気に、明るく、楽しく、胸のドキメキを求め、好きなことを、日々楽しく過ごすほしいものです。

吉成食品 イベント情報！

5/3金
ヨシナリやきとり
GW 特売会

吉成食品事務所
駐車場にて開催
9時～16時まで
無くなり次第終了

5/25土
ヨシナリやきとり
「肉」の日

1000円お買い上げごとに
お肉プレゼント
今月のプレゼントは
豚バラスライス
直売所にて新商品続々販売中！

着任の挨拶

侍浜小学校校長
高橋 昌士



この四月から侍浜小学校にお世話になっております。葛巻町立小屋瀬小学校から参りました。とは申し

ましても、久慈市の出身でありますので、正確には、戻って参りましたとなります。四月五日（金）に紹介式と始業式を行い、子どもたちの温かな歓迎の言葉で迎

着任の挨拶

侍浜中学校校長
大久保 士郎



い入れていただきました。式の間、子どもたちの話を聞いていた態度は、とつても立派でした。翌週、四月八日（月）の入学式には、十四名のかわいらしい子どもたちが入学してきまし

た。しっかりと話を聞いたり、「はい」と返事をしていたりしている姿から、もう立派な一年生になっていると感じました。

本校の先生方においては、大変フットワークが軽く、子どもたちのために一生懸命働いている教職員であると感じています。子どもたちを迎えるまでの準備や諸会議がしっかりと行われ、私自身も大変勉強になりました。そんな全校児童

七十四名の子どもたちと先生方十五名に囲まれたなかで仕事をする喜びは、格別なものであります。校長室から見える海を時折眺めながら、広い校庭で楽しそうに学習したり遊んだりしている子どもたちを微笑ましく思いながら、よいスタートを切ることができたと実感しております。

子どもたちの幸せを願い、笑顔と希望にあふれ、元気に登校する子どもの育成を目指して、これからの教育活動を積み重ねてまいります。保護者の皆様や地域の皆様、そして、各関係機関の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

着任の挨拶

岩手県立久慈拓陽支援学校校長
工藤 弘毅



日頃から本校の教育活動に多大なるご支援ご協力を頂き、ありがとうございます。

私はこの四月より久慈拓陽支援学校に三度目の赴任をいたしました。一度目は昭和六一年四月。高等部は無く、中学部で二年間お世話になりました。二度目は平成六年四月から五年間。

主に進路指導を担当し、福祉・労働教育の連携づくりに関係機関のみなさんと関わらせていただきました。また、開校当時から侍浜地区の保育園や学校との交流は本校の伝統でもあります。昨年度から新たに高等部に清掃班を立ち上げ、侍浜中学校さんや市民センターさんで実習をさせて頂いております。引き続きよろしく願います。

今年度は、小学部二十七名、中学部十一名、高等部四十二名全校児童生徒八十名でスタートしました。また、併設する寄宿舎では二十四名の寄宿舎生が、地域のみなさんにお世話になりながら生活しております。

本校の校訓「明るく、強く、生き生きと」のもと、一人ひとりの力を最大限に伸ばすため、障害の特性に応じた教育を実践し、健康で明るくたくましく生きる人間を育てることを目標にしております。

また、地域のみなさんとの協働による学校経営「地域で共に学び共に育つ教育の推進」も目指しております。地域行事への参加、侍浜小学校・中学校との交流、堀切地区の方々との花壇整備、クリーン作戦等今年度も計画しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

〇五月（皐月）

- 一日 即位の日
- 三日 憲法記念日
- 四日 みどりの日
- 五日 こどもの日
- 六日 立夏
- 七日～八日 侍浜小学校 家庭訪問
- 七、二三日 侍浜中になやどやら練習
- 九日～十一日 教育旅行 受入（仙台市立八軒中学校）
- 九日 侍浜小中連携陸上教室
- 十一日～十二日 全国春の交通安全運動
- 十一日 侍浜小学校PTA奉仕作業
- 一三～一五日 教育旅行 受入（仙台市立八乙女中学校）
- 一五日 狂犬病予防注射グラウンドゴルフ月例会及び地区対抗交流会
- 一八日 侍浜中学校体育祭
- 二三～二五日 教育旅行 受入（横須賀市立久里浜中学校）
- 二五日 侍浜小学校大運動会
- 二八～三〇日 教育旅行 受入（仙台市立館中学校）
- 二九日 侍浜小ゴミゼロ運動
- 三一日 侍浜中学校中学一年授業参観日

町内官公署等 転入職員紹介

平成 31 年度の定期人事異動により、侍浜町内の官公署等に新たに転入された方々を紹介いたします。

官公署等	職 名	氏 名	前 任
侍浜小学校	校 長	高橋 昌士	葛巻町立小屋瀬小学校
	教 諭	高橋 敦子	洋野町立帯島小学校
	教 諭	松岡 青子	新採用
	教 諭	菅原 啓人	滝沢市立篠木小学校
	主 任 主 査	畑 中 幸江	久慈市立侍浜中学校
侍浜中学校	校 長	大久保 士郎	宮古市立田老第一中学校
	副 校 長	山 館 和博	盛岡市立飯岡中学校
	教 諭	須藤 賢治	久慈市立久慈中学校
	教 諭	水上 未帆	久慈市立長内中学校
	教 諭	佐藤 歩実	新採用 久慈市立侍浜中学校
久慈拓陽支援学校	事 務 職 員	渡部 由美子	洋野町立向田小学校
	校 長	工藤 弘毅	岩手県立盛岡みたけ支援学校（二戸分教室）
	副 校 長	小山 芳克	岩手大学教育学部附属特別支援学校
	教 諭	武田 美徳	岩手県立花巻清風支援学校
	教 諭	荒井 貴宏	岩手県立みたけ支援学校
	教 諭	種 綿 鼓動	岩手県立盛岡となん支援学校
	教 諭	箱 石 夏歩	岩手県立前沢明峰支援学校
	教 諭	湊 義徳	（新採用）
	教 諭	遠藤 泰子	（新採用）
	実 習 教 諭	澁谷 吏	岩手県立宮古工業高等学校
	講 師	関 本 春香	（新規任用）
	寄宿舎指導員	鈴木 純子	岩手県立盛岡峰南高等支援学校
	寄宿舎指導員	冬部 江津子	岩手県立となん支援学校
	寄宿舎指導員	佐藤 洋平	（新採用）
	主 任 主 査	小川原 天	岩手県立雫石高等学校
	主 事	小笠原 滯	（新採用）
	主 任	中 村 由美	建築住宅課



侍浜町老人クラブ連合会（桑田和雄会長）では、昨年十月に台湾での視察研修を実施しましたが、その際に、同年二月の大地震で甚大な被害を受けた花蓮県に対し、参加者からの見舞金を贈呈していました。このたび、その見舞金に対する感謝状が現地から桑田和雄会長宅に届き、感謝の思いが相互に海を渡った格好になりました。感謝状は、同県の徐榛蔚知事の名前で送られたもの。「被災者への社会救助金や救難弱者のために役立てることとし、ここに敬意を表し感謝申し上げます」という感謝の思いが台湾語で記されており、桑田会長も「今後の交流につながるれば幸いです」と笑顔を見せました。

町老連の見舞金に感謝状 台湾から

海を越えた感謝の思い